収納一体型便器

取扱説明書

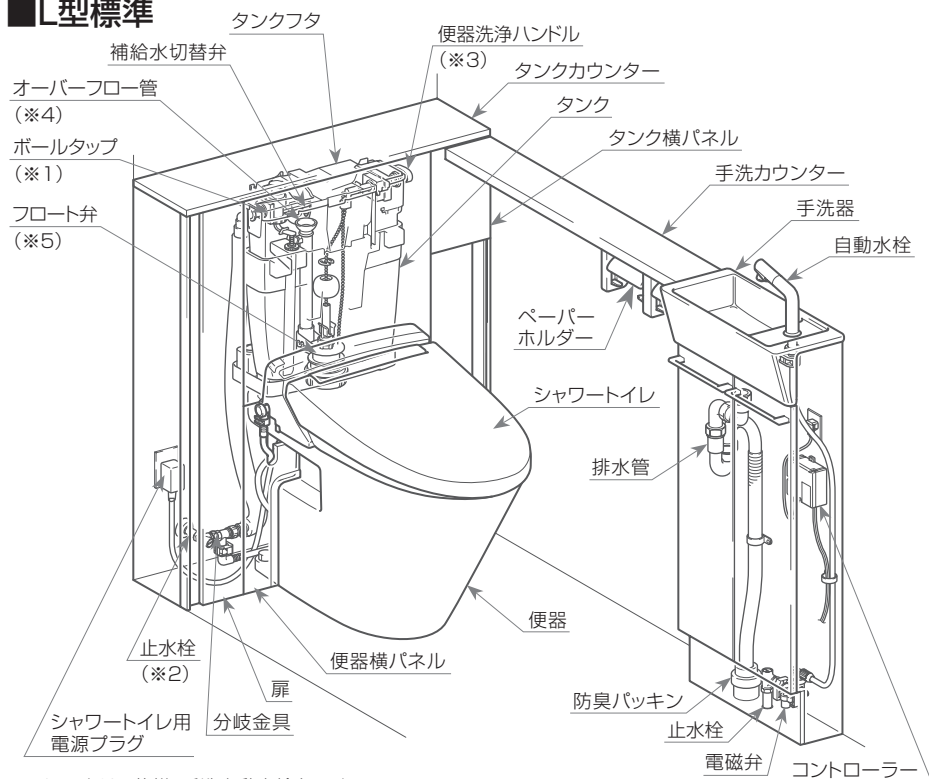
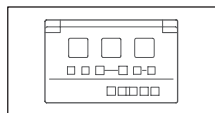
保証書付

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

●ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになった後もすぐに取り出せる場所に、大切に保管してください。

各部のなまえ

■L型標準

タンクフタ
補給水切替弁
オーバーフロー管
（※4）
ボールタップ
（※1）
フロート弁
（※5）
便器洗浄ハンドル
（※3）
タンクカウンター
タンク
タンク横パネル
手洗カウンター
手洗器
自動水栓
ペーパー
ホルダー
シャワートイレ
排水管
便器
便器横パネル
止水栓
（※2）
扉
シャワートイレ用
電源プラグ
分岐金具
防臭パッキン
止水栓
電磁弁
コントローラー

※イラストはR仕様、手洗自動水栓を示す。

リモコン

※タイプによって外観は
変わります。

【ハンドル式水栓の場合】

■L型リトイレ

※イラストはR仕様を示す。

（※ 1）ボールタップ	（※ 2）止水栓	（※ 3）便器洗浄ハンドル	（※ 4）オーバーフロー管	（※ 5）フロート弁
浮きの働きにより、一回分の洗浄水をタンク内に供給する弁です。	水道の水はここを通って、タンク内へ給水されます。止水栓はこの水を止めたり、水量調節を行うための弁です。	フロート弁を持ち上げてタンク内の洗浄水を便器に流出させるためのハンドルです。	万一、不具合が生じて給水が止まらなくなったとき、タンクから水があふれないように、便器の方へ流す役目をします。	便器洗浄操作により、タンク内の水を便器に排出させる弁です。

安全上のご注意

※お使いになる前に必ずお読みください。

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告…………「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意…………「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

…………「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止
…………「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

指示実行
…………「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

※感電・火災・ケガの原因になります。

電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

※感電・火災の恐れがあります

電源プラグ・コードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。

※感電・火災の原因になります。（フルオート便器洗浄、ヒーター付便器の場合）

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。

※感電・火災の原因になります。

アースを取り付けてください。

※故障や漏電時に感電の原因になります。

※コンセントにアース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。

水道水以外に接続しないでください。

※機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

電源プラグにほこりがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふき取ってください。

※ホコリが火災の原因になります。（フルオート便器洗浄、ヒーター付便器の場合）

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。（49ページ参照）

※凍結破損により、感電・火災・室内浸水の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

※電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

- 交流 100V 以外では使用しないでください。
- タコ足配線など定格をこえる使い方をしないでください。

※火災の原因になります。

ガタついているコンセントは使用しないでください。

※感電・火災の原因になります。

⚠注意

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜いてください。
(47 ページ参照)

※凍結破損により、火災・室内浸水の原因になります。
※水が汚れて皮膚の炎症などを起こす原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

※ショート、感電の原因になります。（フルオート便器洗浄、ヒーター付便器の場合）

陶器に熱湯を注がないでください。

※陶器が破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因になることがあります。

陶器に硬いものを落とさないでください。

※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財を濡らす原因になることがあります。

カウンターや手洗器の上に乗ったり重いものを乗せたりしないでください。

※破損してケガをする恐れがあります。

タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。

※火災の原因になります。

便器、手洗器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。

※破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。

商品が破損したり、ガタついたり、あるいは取り付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。すぐにお取り替えや修理依頼してください。

※落下の恐れや破損部位でケガをする恐れがあります。

陶器にひびが入ったままで使用しないでください。

※突然割れてケガをする恐れがあります。

商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃をあたえたり、固いものをぶつけたり、冷水・熱湯などをかけたりしないでください。

※落下の恐れや破損やケガの恐れがあります。

⚠注意

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
※漏水し、室内浸水の原因になります。

ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※火災をおこす恐れがあります。

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※腐食・カビ発生の恐れがあります。

キャビネット内部に水をこぼさないでください。
※床へ漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
※木が水を含み痛む恐れがあります。

扉にぶらさがったり、大きくあけすぎないでください。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。特に、小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

扉が傾いたり、ガタついている時は、蝶番のねじを締めなおしてください。
※扉が落下し、ケガをする恐れがあります。（扉の調整方法は41ページ参照）

収納部の棚に3kg以上の物を置いたり、手をついたりしないでください。
※破損してケガをする恐れがあります。

キャビネットを水洗いしないでください。また水をこぼしたりした際は、すぐに乾いた布でふきとってください。
※腐食・カビ発生の恐れがあります。

給水ホースの接続は確実に行ってください。
※袋ナットの締め付けが不十分ですと漏水の原因になります。

使用上のご注意

※故障を起こさないために守ってください。

●室温と便器の表面温度差や湿度により、便器の表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露が生じた場合は乾いた布でふきとってください。

※結露水は、床のしみや破損の原因になります。
※防露タンク、防露便器の場合は、結露しにくい構造になっています。

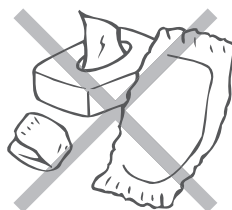
●鉛筆、ボールペン、クシ、歯ブラシなどを誤って便器鉢内、手洗器排水口に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。

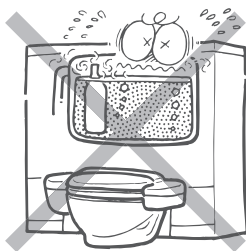
※便器、排水管が詰まり汚水があふれる恐れがあります。

●本体およびカウンターに堅いものを落としたり、衝撃を与えないでください。また熱湯をそそがないでください。

※破損や漏水の恐れがあります。

●便器には新聞紙、紙おむつ、ティッシュペーパー、生理用品等、詰まりやすいものは流さないでください。

※便器が詰まり、汚水があふれる恐れがあります。必ずトイレットペーパーをご使用ください。

●タンクに芳香洗浄剤や薬品を使用しないでください。また節水のためにタンク内に空ビンやレンガ等の異物を入れないでください。

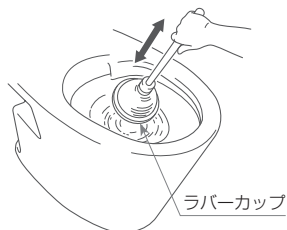
※故障の恐れがあります。

●便器に油などを流さないでください。

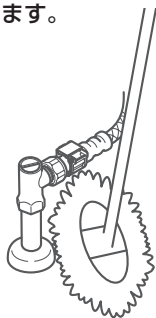
※排水管が腐食し、漏水の恐れがあります。

●扉は静かに開閉してください。

※商品が破損する恐れがあります。

●万一詰まった場合には、市販の吸引器(商品名:ラバーカップ)を使って取り除いてください。

※詰まったまま水を流すと、便器から汚水があふれます。

●お掃除の際に、止水栓部に強い衝撃を与えたりしないでください。

※ホースが外れ、漏水にいたる恐れがあります。

●キャビネット内部に水をこぼさないでください。

※床へ漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
※木が水を含み痛む恐れがあります。

●直射日光が当たる場所は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。

※変色や変形の恐れがあります。

●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネットやカウンターを拭かないでください。

※変色や変形の恐れがあります。(溶剤がつきますと跡が残ることがあります。

●タンク内の点検は、お求めの取扱店または INAX メンテナンス修理受付センターにご連絡ください。

●手洗鉢に飾り物を置かないでください。

※タンク内に落ちると内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。

●汚物の大きさ、量、比重の違いやトイレットペーパーの量、種類によっては、1 回の洗浄で完全に流れきれずに残ることがあります。大洗浄で 1 度に流すトイレットペーパーの量は 5m 程度を目安にしてください。便器が詰まり汚水があふれる原因になります。
なおトイレットペーパーの量についてはJIS の規格を参考にしております。

●便器に汚物が付着して、便器洗浄しても容易に落ちないときは、樹脂製のブラシで掃除してください。

●手洗鉢にトイレットペーパーやゴミを流さないでください。
また、手洗鉢で雑巾やモップを洗わないでください。

※漏水や止水不良の原因になります。

KILAMIC 抗菌商品についてのご注意

● KILAMIC 抗菌商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては十分な抗菌効果を発揮できません。

● KILAMIC 抗菌商品は菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品により感染等が完全に防げるわけではありません。

【便器、タンクで使用している抗菌剤について】

部位	添加物質名
陶器	銀
便器洗浄ハンドル （メッキハンドル除く）	酸化亜鉛

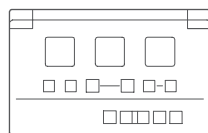
使いかた

・シャワートイレのお手入れは、シャワートイレ取扱説明書をご覧ください。

便器洗浄のしかた

●シャワートイレ用リモコンの洗浄ボタンを押してください。大洗浄の場合は大ボタン、小洗浄の場合は小ボタンを押します。

小洗浄： 小用の場合にお使いになると洗浄水が少なくてすみます。

大洗浄： 大用の場合にお使いください。

リモコン

※タイプによって外観は変わります。

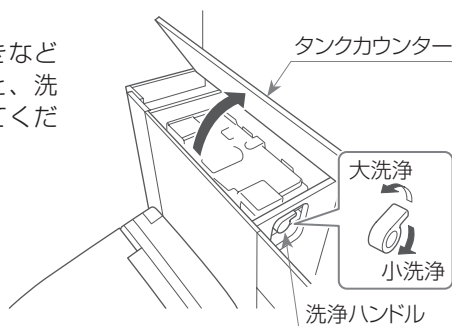
参考

停電時およびリモコン電池切れのときなどは、タンクカウンターを持ち上げると、洗浄ハンドルがあるので手動で操作してください。

タンクカウンター

大洗浄

小洗浄

洗浄ハンドル

注意

- 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので大洗浄の方でご使用ください。
- 一回目の便器内洗浄から間をおかずに二回目を行うと洗浄ができない場合があります。このようなときはしばらく間を置いてから便器洗浄操作してください。
- 洗浄水量（1 回の便器洗浄で使用する水量）は、流動圧 0.2MPa の場合のものです。
- 洗浄水量は現場水圧条件や施工条件等により変動することがあります。

断水したときの便器鉢内の洗浄のしかた

●バケツ１杯（5 ～ 6L）の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。最後に、便器内の水位が通常の高さになるように３～ 4L の水を注いでください。

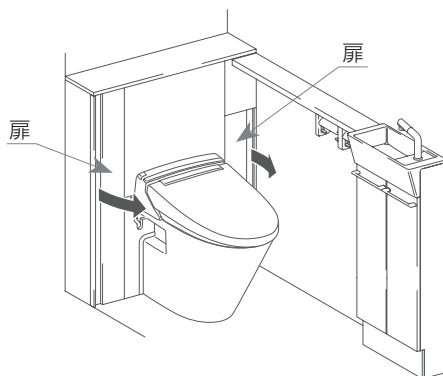
※うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く（短時間に一気に）して、再度行ってください。

※小洗浄も同じように流してください。

収納部（棚）の使いかた

■タンクキャビネット部

●左右の扉の中には、収納棚があります。お手入れ用具やトイレットペーパーの予備をすっきりきれいに収納することができます。

※扉の開閉は、扉の壁側を手前に引いてください。（タイプによっては内側になる場合もあります）

※イラストはR仕様、手洗自動水栓を示す。

⚠注意

● **収納部の棚に 3kg 以上の物を置いたり、手をついたりしないでください。**

※破損してケガをする恐れがあります。

注意

● **止水栓が結露することがあります。その場合は水滴をふき取ってください。**

※濡れてはいけない物（トイレットペーパー等）を置くと使用できなくなる恐れがあります。

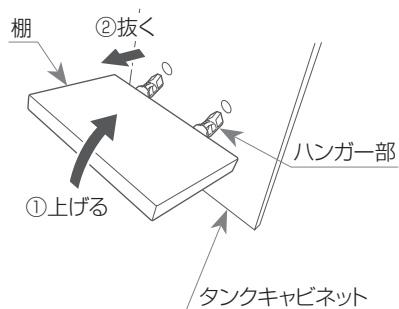
● **収納部には止水栓や給水ホースがあります。給水ホースを無理にひっぱったり、押したりしないでください。**

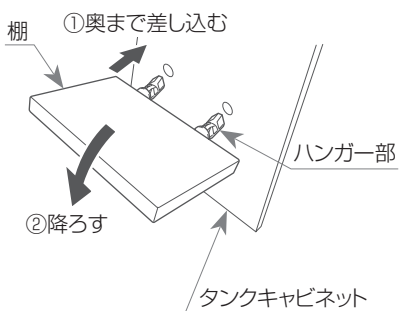
※接続部が緩み漏水の原因になります。

■棚位置の変え方

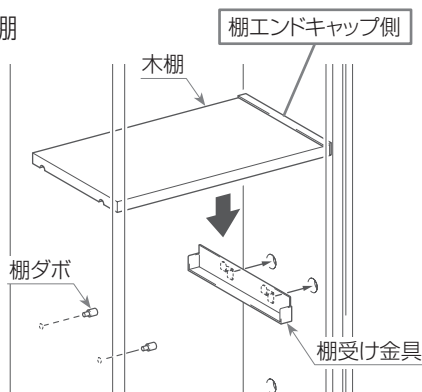
【プラスチック棚の場合】

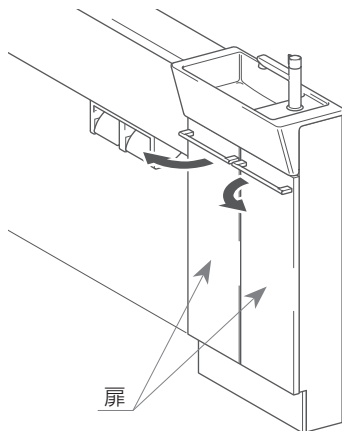
●棚の取外し。

※棚の端を持ち上げて、棚を抜きます。

●棚の取付け。

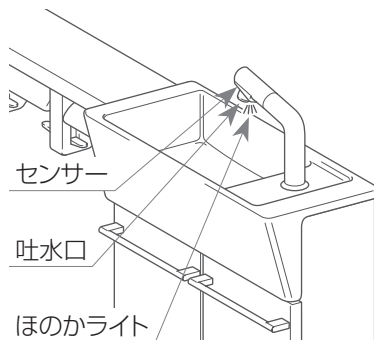
※棚のハンガー部をキャビネットの取付穴に、奥まで差し込んで水平に降ろします。

【木製棚の場合】

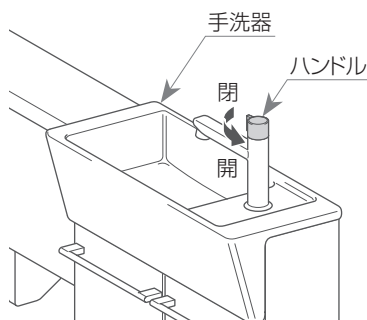
●木棚を持ち上げて取り外します。

●棚受け金具、棚ダボを移動させ、木棚をのせます。

■手洗キャビネット部

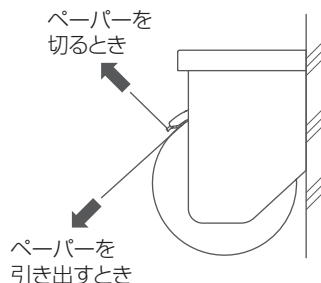
●扉の中には、収納スペースがあります。お手入れ用具などをすっきりきれいに収納することができます。
※扉の開閉は、取っ手を手前に引いてください。

手洗器水栓の使いかた

【自動水栓の場合】

●センサー部に手を差し出すと吐水し、ほのかライトが点灯します。
手を引きますと約１～２秒後に止水した後、ほのかライトも消灯します。

【ハンドル式水栓の場合】

●水栓金具のハンドル部を、左に回すと水が出ます。

ペーパーホルダーの使いかた

■ペーパーの切り方

●ペーパーをひっぱり出すときは斜め下方向へ引き、切るときはカッターの先端にペーパーの端をひっかけて、ゆっくり斜め上に引いてください。

■ペーパーの交換方法

●ペーパーを上へ持ち上げてペーパーホルダーにセットします。

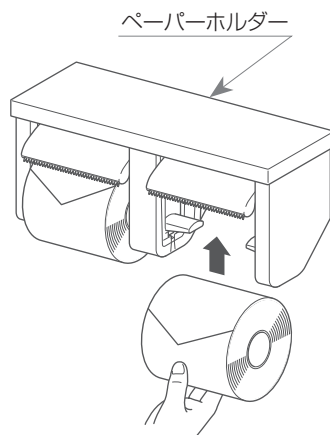
※使用可能なペーパーサイズ

幅：106 ～ 118mm

直径：120mm 以下

注意

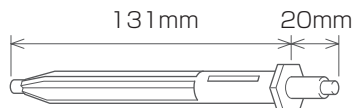
● ペーパーを間違えてセットした場合は、無理に取り外さないでください。ペーパーを紙切板に押し当てながら、ゆっくりと手前に引き出します。

※無理に外しますと製品が破損する恐れがあります。

参考

市販のペーパーには切れにくいものもあります。ペーパーはお住まいの地域によって多種多様にありますので、いくつかの種類をお試しの上、切れやすいものを選択してお使いください。

■芯無しペーパーを使用するとき

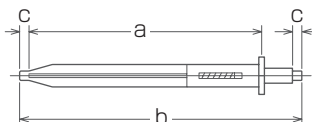
●このペーパーホルダーは、別売品の芯棒を取り付けることで芯無しペーパーも使用することができます。
（購入方法は、55 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。）

■芯無しペーパー用芯棒（品番：A-4326）

・伸縮寸法：131～151mm

■市販の芯無しペーパー用芯棒について

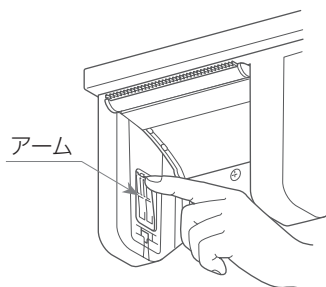
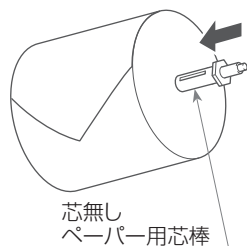
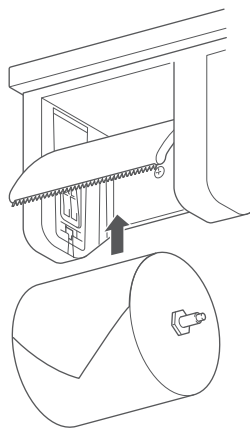
●下記の条件を満たす市販の芯無しペーパー用芯棒も同様に使用することができます。

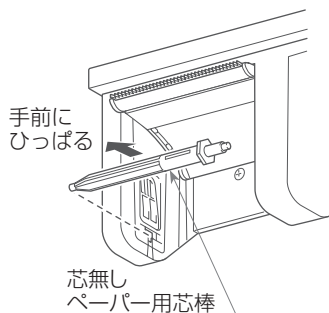
・伸縮寸法：最小寸法が131mm以下 ………a
　　　　　　最大寸法が137mm以上 ………b

・端部形状：φ5mm以下の直線部が両端に
　　　　　　各3mm以上あること …………c

注意

● **条件を満たす芯棒でも場合によっては装着できないことがありますので、無理に取り付けないでください。**
※ペーパーホルダーが破損し、ケガをする恐れがあります。

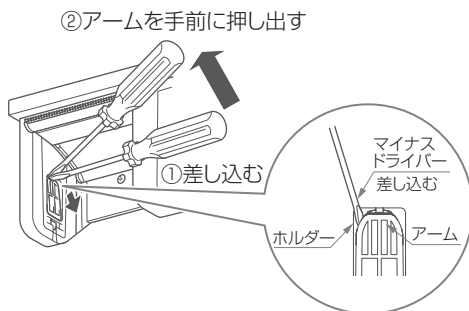
■芯無しペーパーの取付方法

①ペーパーホルダーのアーム部分を本体の中に指で押し込みます。

②ペーパーに芯無しペーパー用芯棒を差し込みます。

③ペーパーホルダーの下方から溝に沿ってペーパーを「カチッ」と手ごたえがあるまで挿入します。

■芯無しペーパーの交換方法

①芯無しペーパー用芯棒を手前にひっぱり、ペーパーホルダーから取り外します。

②芯無しペーパー用芯棒に芯無しペーパーを差し込み、ペーパーホルダーに挿入します。

■芯無しペーパーから芯ありペーパーに戻すとき

①マイナスドライバーの先端をアームとホルダーのすき間に差し込みます。

②マイナスドライバーの先端でアームを後方から手前方向に押し出してください。

注意

● **芯無しペーパーをご使用後、アームを元の位置に戻したときに完全に元の位置に戻らない場合があります。戻らないときにはアームを下に押さえて調整してください。**

※ペーパーが傾いたり、浮いたりして使いにくくなる恐れがあります。

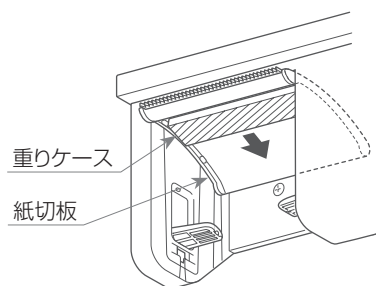
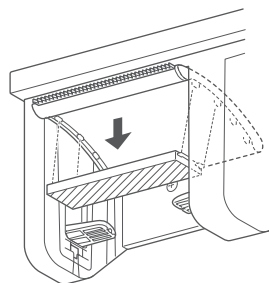
使いかた

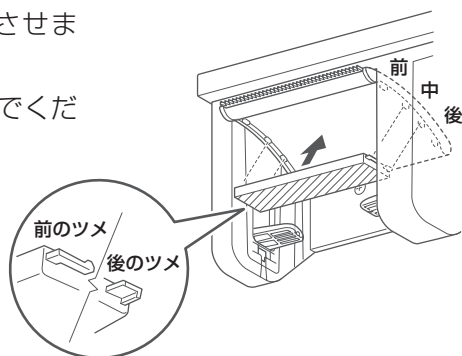
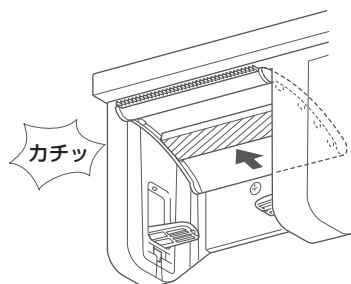
■重りケースの調整方法

●ペーパーホルダーは片手でペーパーを切れるようにペーパーを加圧しています。ご使用になる紙質によっては、ペーパーがひっかかり切りづらい場合があります。その場合は加圧調節することで、ペーパーを切りやすくすることができます。

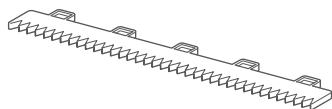
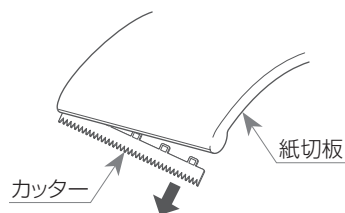
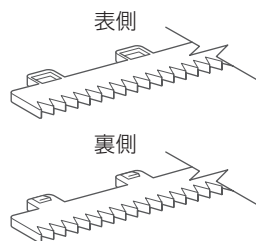
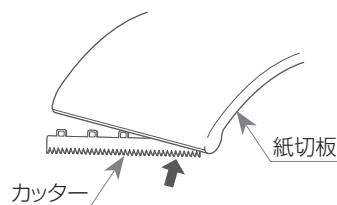
参考

重りケースの装着位置は、前・中・後の3段階で調整できます。説明用のイラストは前側から中央の位置に重りケースを調整した場合です。ペーパーがちぎれて引き出しにくいときは、重りケースを後側の位置に取り付けます。

①紙切板を上げ、重りケースを奥にスライドさせます。

②重りケースを下に外します。

③紙切板の裏に重りケースを密着させます。

※重りケースの前後を間違えないでください。

④重りケースを「カチッ」と手ごたえがあるまで、手前にスライドさせます。

■カッターの交換方法

●ペーパーの切れ味が悪くなってきたら、別売品にてカッターを購入頂き、交換してください。
（購入方法は、55 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。）

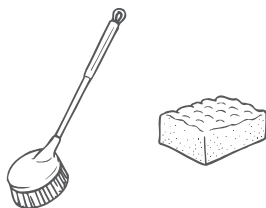
■カッター
（品番：75-1407）

①カッターを手前に引っ張り、紙切板から取り外します。

②新しいカッターの表裏をよくご確認の上、手前から差し込みます。
※カッターを差し込んだ後、軽く引っ張り容易に外れないことを確認してください。

お手入れ

・便器や便座、キャビネットはお手入れをせずに放置しておきますと、光沢を失うばかりか部品によっては使用に不具合が生じる場合があります。常日頃から、こまめにお手入れをしてください。
・シャワートイレのお手入れは、シャワートイレ取扱説明書をご覧ください。

日頃のお手入れ

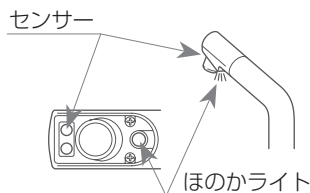
●便器または手洗器のお手入れは、樹脂製のブラシやスポンジを用いて、中性洗剤と水またはぬるま湯で洗ってください。

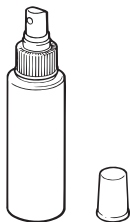
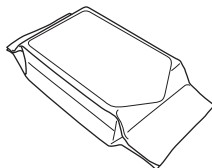
⚠注意

● **熱湯を便器や手洗器に注ぎますと割れることがありますのでおやめください。**
※破損してケガをする恐れがあります。

●汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときには、**シャワートイレお掃除クリーナー・おそうじティッシュ（別売品）**をお使いください。もしくは、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふきとります。そのあとすぐ水ぶきをし、乾いた布で水分をふきとってください。

注意

● **表面の変色や変質の原因になる、以下のものは使用しないでください。**
・中性洗剤以外の洗剤
・酸、アルカリ
・熱湯
・クレンザー、磨き粉
・シンナー、ベンジン等の溶剤
・金属たわし、硬いブラシ、硬い布

●水栓やセンサー、ほのかライトの表面の汚れは、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふきとってください。
※水栓やセンサー、ほのかライトの表面についた洗剤はよくふきとってください。

●トイレ用洗剤や住宅用洗剤などで便座などの樹脂をお手入れすると割れて事故につながることがあります。便座や便フタの樹脂部には、シャワートイレお掃除クリーナーをお使いください。
（購入方法は、55 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

■トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36-4SET）

●ヒーター付便器の場合、特に次のことに注意してください。

注意

● **お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**

⚠警告

● **電源プラグやヒーターコントローラーに水や洗剤をかけないでください。**
※感電・火災の恐れがあります。

水かけ禁止

⚠注意

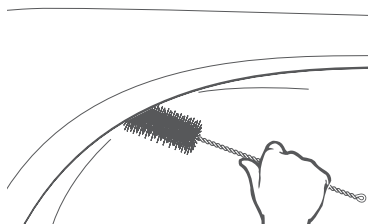
● **電源プラグやヒーターコントローラーに、便座に使用できる洗剤以外（トイレ用洗剤､住宅用洗剤､漂白剤､ベンジン､シンナー､クレンザー、クレゾール）は使用しないでください。**
※プラスチック部が割れてケガの原因になります。

禁止

便器のお手入れ（陶器部）

●樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。
リム奥の狭い部分の汚れについては、歯ブラシやコップブラシ等を使って掃除してください

注意

- **熱湯はお使いにならないでください。**
  ※便器が破損することがあります。
- **ガラス質を侵すフッ素化合物入の洗剤はお使いにならないでください。**
  ※表面が侵されます。

お手入れ

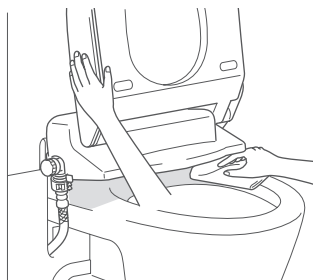
●シャワートイレを浮かしたり、外したりすることで便器とシャワートイレの間を簡単にお手入れすることができます。

参考

シャワートイレの給水ホース、電源コードは便器横パネルの開口部を通り接続されています。シャワートイレを動かす際は、無理に引っ張り傷つけないようにしてください。

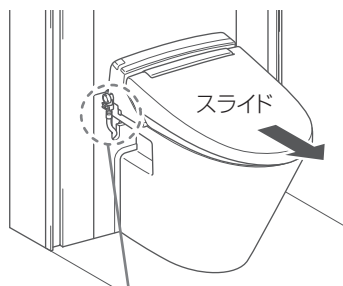
【シャワートイレを浮かして掃除する場合】

●お掃除リフトアップの方法については、シャワートイレ取扱説明書を参照してください。

〈お掃除リフトアップ〉

【シャワートイレを外して掃除する場合】

●本体スライド着脱の方法については、シャワートイレ取扱説明書を参照してください。

●シャワートイレを外す際は電源を切り、止水栓を閉じてから行なってください。

※シャワートイレのコンセントは扉を開けるとあります。（参照 P. 24）

注意

● **シャワートイレを外す際は手前にゆっくりとスライドさせ、無理に引っ張り傷つけないようにしてください。**

※破損、漏水の原因となります。

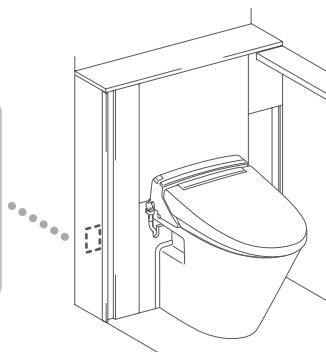
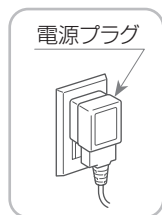
〈本体スライド着脱〉

【便フタを外して掃除する場合】

●便フタを外す方法については、シャワートイレの取扱説明書を参照してください。

電源プラグのお手入れ

●シャワートイレ用の電源プラグは収納部左下にあります。定期的にプラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。

※リトイレの場合は電源コンセントの位置がお客さまにより異なります。左右の収納部内をご確認ください。

⚠警告

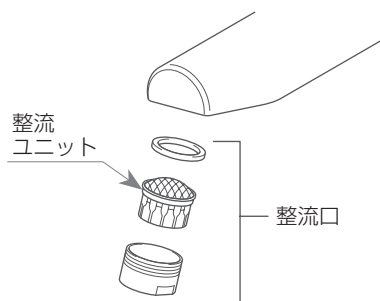
● 電源プラグにホコリがたまらないよう、定期的にコンセントを抜いて乾いた布でふき取ってください。

※ホコリが火災の原因になります。

お手入れ

整流口の掃除

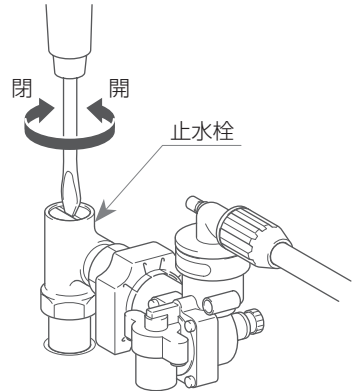
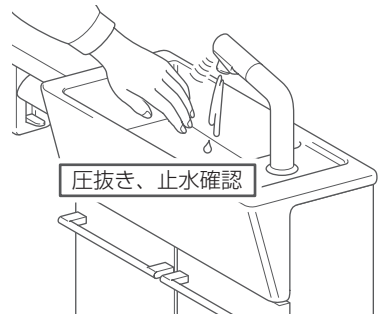
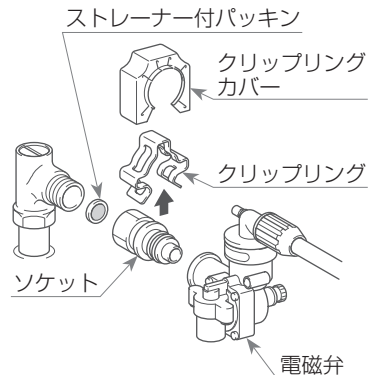
●吐水口内部のゴミ詰まりは吐水機能を低下させます。定期的に整流口を工具（モンキーレンチ）で取り外し、整流ユニットを水で掃除してください。

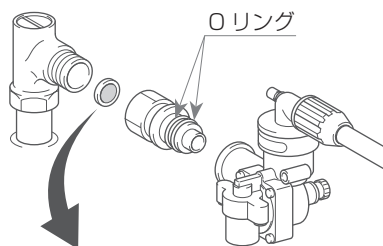
※整流口の取り外しは、直接工具を当てますと整流口をキズつける恐れがあります。必ず布などを当てて取り外してください。

手洗器止水栓（ストレーナー）のお手入れ【自動水栓の場合】

●吐水量が少なくなった場合、ストレーナー付パッキンのゴミ詰まりが原因として考えられます。以下の手順でストレーナー付パッキンの掃除を行ってください。

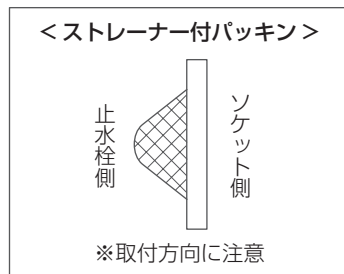
①手洗キャビネット内の止水栓を、右にいっぱい（回らなくなるまで）回して閉じます。

※キャビネット内に吊り下げてある専用工具を使用してください。

止水栓の操作
- 開ける→左に回す
- 閉める→右にいっぱい回す

②自動水栓に手を差し出し、センサーを感知させて止水確認をし、圧抜きをします。

③クリップリングカバー、クリップリング、電磁弁を外し、ソケットを外します。ストレーナー付パッキンのゴミ等を洗い流します。

④ストレーナー付パッキン、ソケット、電磁弁の順に取り付けます。

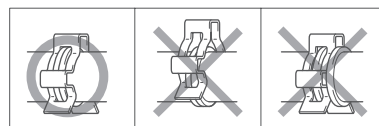
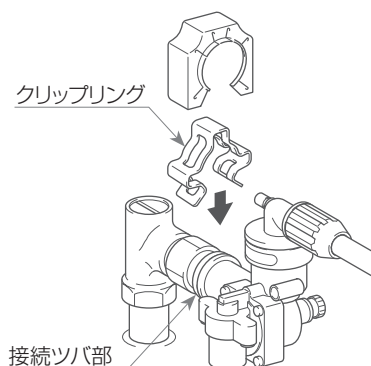
※ストレーナー付パッキンは取り付けに方向性があります。ストレーナー付パッキンの網の凸側が止水栓を向くように取り付けてください。

⚠注意

● **Oリングにキズをつけたり、ゴミかみをさせないように注意してください。**

※きちんとはまっていないと、漏水事故の原因となることがあります。

⑤クリップリングを電磁弁とソケットの接続部（ツバ部）にはめ込み、クリップリングカバーを取り付けます。

⚠注意

● **確実に接続されていることを確認してください。**

※きちんとはまっていないと、漏水事故の原因となることがあります。

⑥ストレーナー付パッキンの掃除後は必ず吐水量調節を行ってください。（参照 P. 35）

排水トラップのお手入れ

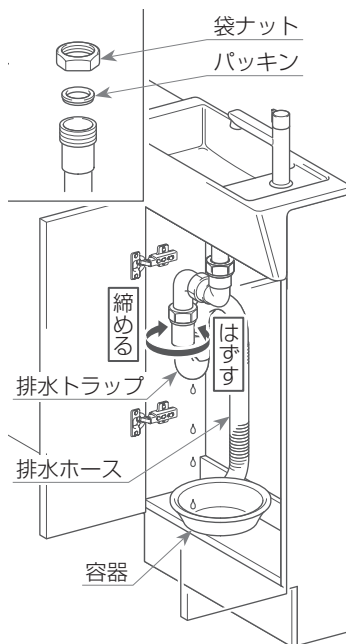
【L 型標準の場合】

①扉を開け、キャビネット内に収納されているもの（洗剤、ブラシホルダー等）を取り出します。

②排水管の真下に排水トラップ内の水を受けるための容器を置きます。

③排水トラップを取り外して、ゴミを取り除きます。

④排水管の掃除を行ったあと、再度袋ナット部を手で締め付けます。

※袋ナットとパッキンのはめ合いは、きつめになっているので、袋ナットをねじりながらはめ込んでください。

⚠注意

- **袋ナットは手でしっかりと締め付けます。**
  ※締付けがゆるいと、漏水やトラップ脱落の恐れがあります。
- **パッキンの入れ忘れがないように注意してください。**
  ※漏水の原因となります。

⑤一度、水栓から水を流し、排水管から水が漏れていないことを確認します。

注意

- **⑤の確認を怠りますと、排水口から下水の臭いが漏れてくることがあります。必ず一度、水を流して確認してください。**

【リトイレの場合】

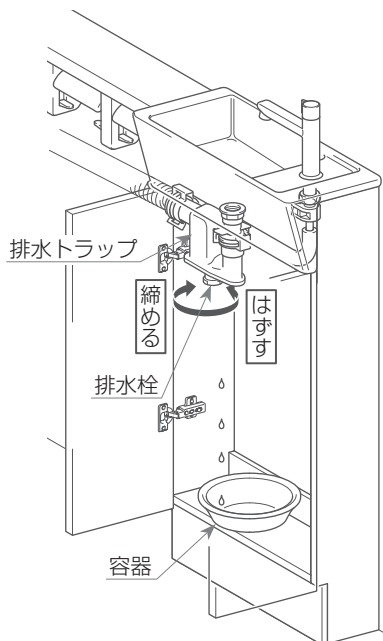
①扉を開け、キャビネット内に収納されているもの（洗剤、ブラシホルダー等）を取り出します。

②排水トラップの真下に排水トラップ内の水を受けるための容器を置きます。

③排水トラップ下の排水栓を取り外して、ゴミを取り除きます。

④排水トラップの掃除を行ったあと、再度排水栓を手で締め付けます。

⚠注意

- **排水栓は手でしっかりと締め付けます。**
  ※締付けがゆるいと、漏水や排水栓脱落の恐れがあります。
- **パッキンの入れ忘れがないように注意してください。**
  ※漏水の原因となります。

⑤一度、水栓から水を流し、排水トラップから水が漏れていないことを確認します。

注意

- **⑤の確認を怠りますと、排水口から下水の臭いが漏れてくることがあります。必ず一度、水を流して確認してください。**

プロガードのお手入れ

プロガードの効果を長持ちさせるために 以下の洗剤・道具を使用しないでください。

● **アルカリ性の洗剤**

これらの洗剤には陶器のうわぐすりを溶かす水酸化ナトリウムが含まれています。

※洗剤のラベル表示に「液性／アルカリ性」または大きな文字で「塩素系」と示されています。

● **けんま材入りの洗剤**

● **けんま材入りのブラシ**

これらに含まれるけんま材は、陶器のうわぐすりをけずり取ります。

※洗剤のラベル表示に「成分／けんま（研磨）材」と示されています。

■プロガードの性能を長持ちさせるために以下の洗剤・道具をおススメします。

・中性洗剤

・けんま材なしの洗剤

・けんま材なしのブラシ

お手入れ

知っておいてください。

便器洗浄後しばらくのあいだ、便器鉢内にしずくが流れ落ちますが、これは水もれではありません。

便器洗浄後もしばらくのあいだ（数分程度）便器鉢内にしずくが流れ落ちます。
これは、プロガードの水をはじく効果によって発生する現象です。
やがて流れ落ちなくなるものですからご安心ください。

縁の上についたしずくや汚れが目立つように感じられることがありますが、ご安心ください。かえって拭き取りやすくなります。

便器の縁の上についたしずくや汚れが水玉となって、目立つように感じられることがあります。これは、プロガードの水をはじく効果によって汚れが目立つようになったためです。

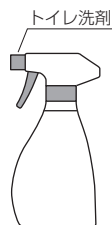
従来の便器では水をはじく効果が弱いため、付着した汚れが広がってわかりにくくなり、拭き忘れが生じました。

しかしプロガードなら汚れに気づかずに過ごすことなく、きれいに残さずお手入れができますので、清潔好きの方にも安心です。

はじかなくなっても、プロガード効果は保たれています。

プロガードは水をはじくのが特徴ですが、使い続けるとその効果が薄れていきます。その場合でもプロガード効果は保たれています。**どうぞご安心ください。**

プロガードは、おそうじがラクです。

じょうずなお手入れ方法

少量のトイレ用中性洗剤ですみます。
（強力な洗剤は不要です。）

プロガードの効果持続期間について 適切なお手入れ方法を守っていただければ、プロガードの効果は、使用開始から毎日お掃除をしても15年間は持続します。	効果持続期間は、清掃頻度などの使用状況によって異なります。表記期間を保証するものではありません。 「持続期間15年間」の算出は以下の条件によっています。 ●トイレ掃除は毎日。 ●1回につきプロガード加工面を往復2回こする。 ●この掃除頻度で、15年経過。 2回×365日×15年 ≒10,000回の摩耗回数

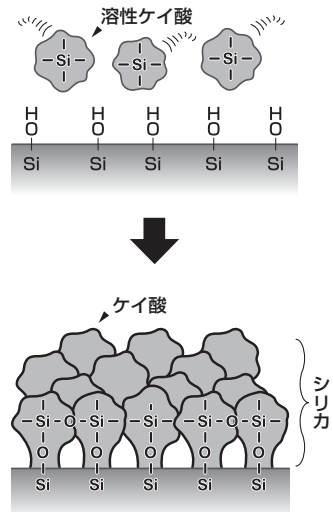
水道水に含まれるシリカは、気になる汚れの原因？！

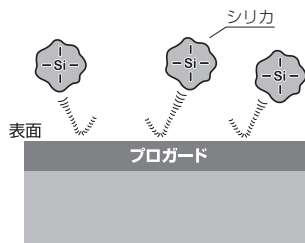
黄ばみ・黒ずみといった気になる汚れ。水が流れるスジにそってザラザラした汚れが頑固にこびりついて、こすっても簡単にはとれません。目立たなくても、うっすらとついたシリカは、他の汚れまで呼び寄せてしまいます。**シリカは「トイレのお掃除の大敵」**なのです。

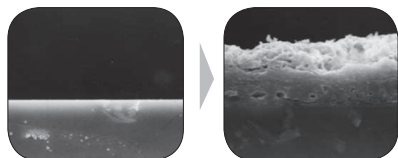
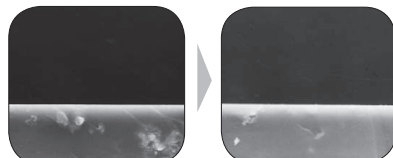
シリカとは、水道水（洗浄水）の中に含まれる溶性ケイ酸（土壌成分に由来する無毒の鉱物）が、衛生陶器の表面で化学反応して石のように硬く結びついたものです。

もともとはツルツルだった表面が、数ヶ月もすればどんどんシリカが固着します。ミクロのレベルでザラザラ・ガサガサになって、ほかの汚れまでヤスリのように引っかけてしまいます。

やがては鉄分やトイレの汚物まで取り込んで、目にもハッキリ見えるイヤな汚れに。こうなると、もう通常の手入れでキレイにお掃除することは不可能です。

お手入れ

プロガードなら、「汚れのはじまり」のシリカを寄せつけません！

「もしザラザラの汚れがつかなければ、トイレはずっとツルツルでお掃除しやすいままなのに…」プロガードはそんな発想を実現した、**当社独自の**新技術です。
シリカがつきやすい（水が流れるところなどの）衛生陶器の表面を、表面分子レベルでガード、化学反応によるシリカの固着を防ぎます。〝汚れのはじまり〞シリカを防ぐことによって、表面はずっとツルツルのまま、**優れた清掃性が維持**されます。

- ●うわぐすりと一体化したコーティングです。
- ●陶器の表面硬度は保たれたままです。見た目にも従来と変わりません。
- ●プロガードはシリカの固着を防止するのもです。プロガード表面に汚れがつくことがあるので定期的にお掃除をしてください。
- ●座薬を使用すると、汚れが落ちにくくなることがあります。

〈プロガード加工していない製品〉

〈プロガード加工した製品〉

プロガード効果が低下したら再加工をおすすめいたします。

プロガードの効果が低下した場合、お客さまのご希望に応じてプロガードの再加工を承っております。
リフレッシュ加工の場合、効果は約５年です。（効果持続期間は清掃頻度によって異なります。表記期間を保証するものではありません。）

当社のサービスマンがお客さまのお宅へ訪問して、商品のリフレッシュ清掃とプロガードの再加工を行います。作業時間は１～２時間程度です。

サービス・価格などの詳細は、保証書に記載の INAX メンテナンス修理受付センター フリーダイヤルへお問い合わせください。（連絡先は 62 ページに記載）

こんなときは

止水栓（水量）の調節のしかた

■便器側止水栓について

●水量の調節やシャワートイレを外してお手入れする場合に、止水栓をマイナスドライバーで操作して、水量を変えたり水を止めたりできます。

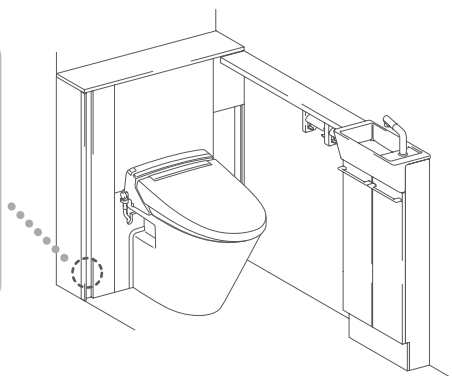
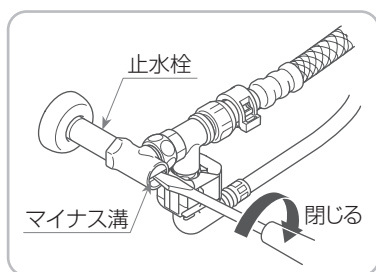
※止水栓を全開にする場合は、固着を防ぐため、半回転戻しておいてください。

※止水栓を閉めておく場合は、軽く締めた後、さらに約 1/4 回転（目安）ほど締めてください。

注意

● **止水栓のマイナス溝に合ったマイナスドライバーを使用してください。**
※マイナス溝は樹脂製ですので傷を付ける恐れがあります。

●止水栓は収納部にあります。

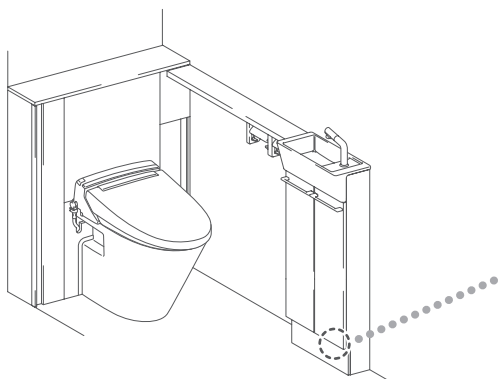
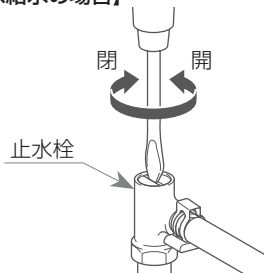
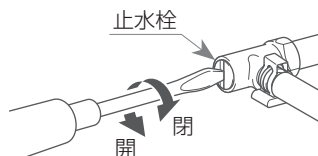
※リトイレの場合は止水栓の位置がお客さまにより異なります。左右の収納部内をご確認ください。

【リトイレの場合】

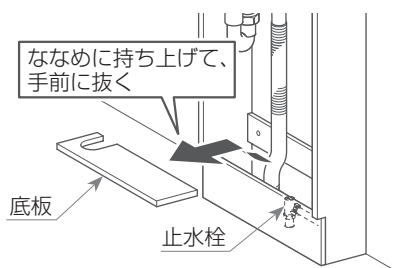
●手洗吐水量が多い場合は、止水栓を操作して開閉の調節をしてください。

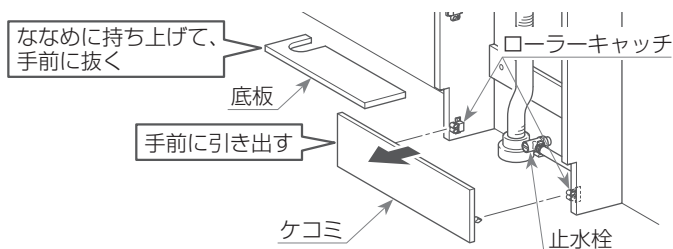
※リトイレの場合この止水栓は、タンクおよびシャワートイレへの給水、手洗水栓への給水の止水栓を兼ねています。

■手洗器側止水栓について（リトイレは除く）

●設置時にあらかじめ水量調節がしてあります。吐水流量を変更したい場合は止水栓を調節してください。

※定流量弁が付いていますので、一定以上開いても流量は変わりません。

【床給水の場合】

●底板を取り外して止水栓を調整します。

【壁給水の場合】

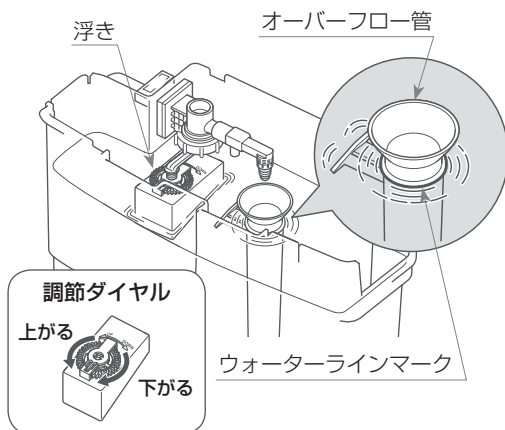
●底板およびケコミを取り外して止水栓を調整します。

止水位調節のしかた

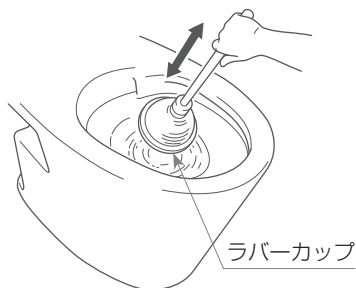
●タンク内の止水位（水面）がオーバーフロー管のウォーターラインマークに合っていることを確認してください。

※止水位がウォーターラインマークに合っていない場合は、以下の要領で直してください。

①浮きの調整ダイヤルを回して、止水位をウォーターラインマークに合わせます。（調節ダイヤルを１回転させると、水位は３～4mm 変化します。）

②調節後、便器洗浄を行い、止水位を確認してください。

③タンクフタおよびタンクカウンターを取り付けます。

便器が詰まったとき

●市販のラバーカップを使用し、次の要領で詰まりを取り除いてください。
便器の排水口をふさぐように、ラバーカップを静かに押し付け、勢いよく手前に引いたり押したりを数度繰り返してください。このとき、透明なビニールでカバーしておくと汚水の飛び散りを防ぐことができます。

タンクへの給水時間が長くなったとき

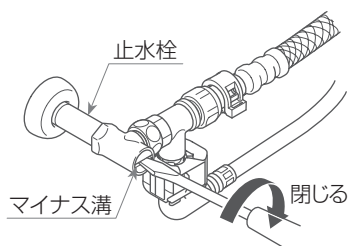
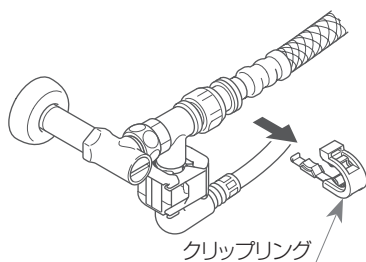
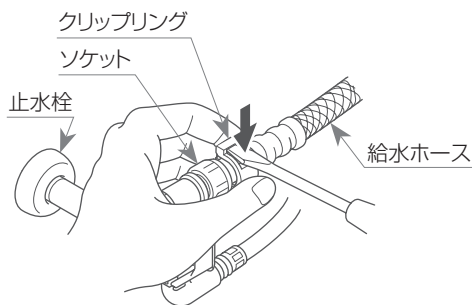
●ストレーナー付パッキンのゴミ詰まりが原因と思われますので、以下の手順でストレーナー付パッキンのゴミを取り除いてください。

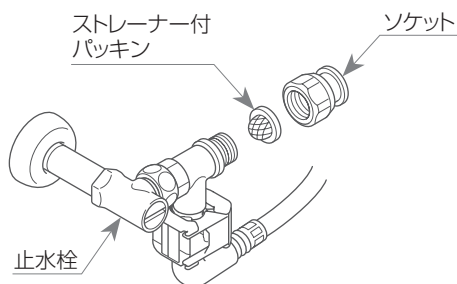
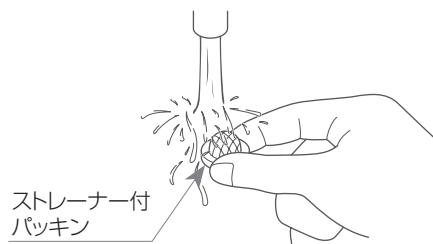
①止水栓をマイナスドライバー等で右に回して閉めます。

注意

● **止水栓のマイナス溝に合ったマイナスドライバーを使用してください。**

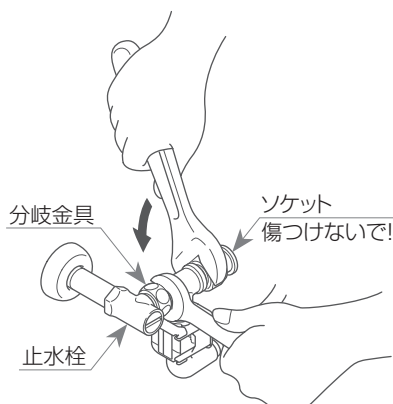
※マイナス溝は樹脂製ですので傷を付ける恐れがあります。

※必要以上に閉めすぎないでください。

②給水ホースとソケットを固定しているクリップリングを図のようにマイナスドライバーを差し込んで外し、給水ホースをソケットから外します。このとき給水ホース内の水が出てきますので、雑巾などを用意しておいてください。

③ソケットを止水栓から外し、ストレーナー付パッキンを取り出します。

こんなときは

④ストレーナー付パッキンを水洗いしてゴミを取り除きます。

⑤ストレーナー付パッキンをソケットに取り付けます。

⑥止水栓にソケットを取り付けます。このとき、ソケットをしっかりと締め付けてください。

注意

● **分岐金具の六角部にスパナーまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、ソケットをスパナー等でしっかり締め付けてください。**

⑦給水ホースをソケットに差し込み、クリップリングを差し込みます。

注意

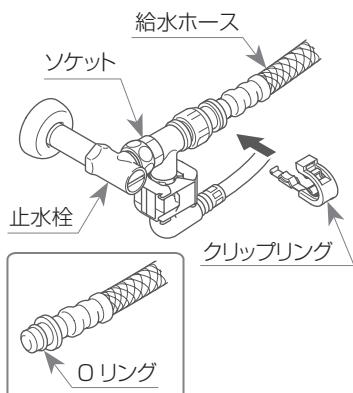
● **O リングを傷つけないように注意してください。**

※O リングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

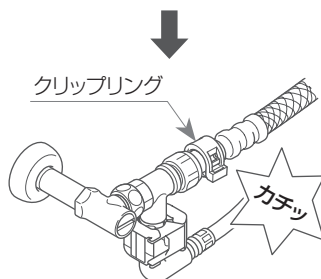
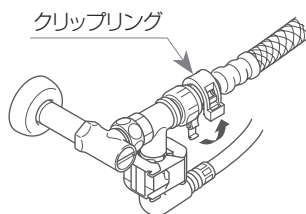
⚠注意

● **給水ホースの接続は確実に行ってください。**

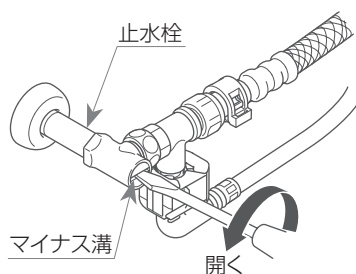
※接続部の固定が不十分ですと漏水の原因になります。

こんなときは

⑧クリップリングを折り曲げ、給水ホースとソケットを確実に固定します。

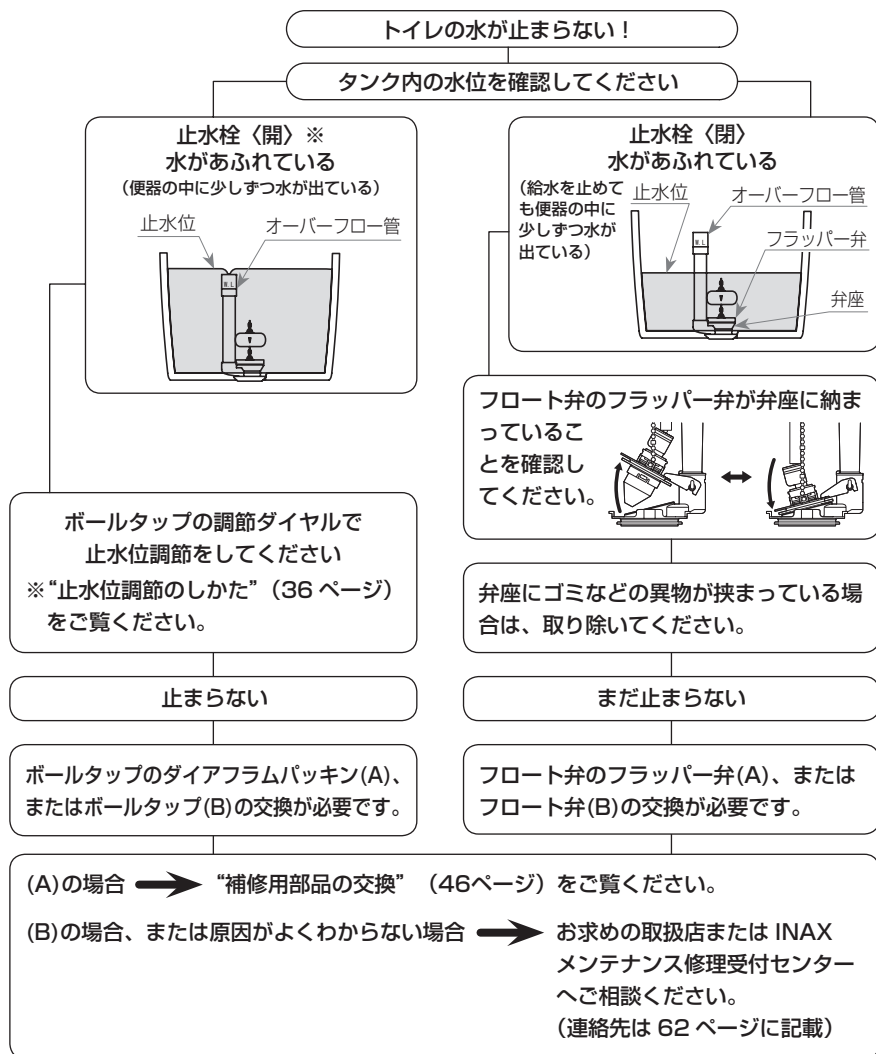
注意

- **クリップリングの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。**
  ※きちんとはまっていないと漏水します。

⑨止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。

⑩給水時間が短くなったことを確認します。

※接続部が漏水していないことを確認してください。

便器洗浄水がなかなか止まらないとき

●便器洗浄後 5 分以上たっても、洗浄水が止まらない場合は、止水栓を右に回して給水を止め、手洗器およびタンクフタを外して以下の確認を行ってください。

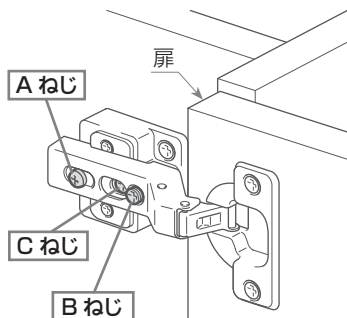
※止水栓の操作のしかたは“止水栓（水量）の調節のしかた”（34 ページ）、タンクフタの外し方は“タンクフタの脱着のしかた”（45 ページ）をご覧ください。

扉の調整のしかた

●扉のスライド蝶番で扉の目地を調整することができます。

※目地などがずれた場合に行ってください。

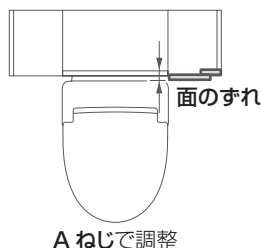
注意

● **A ねじ、B ねじ、C ねじ以外のねじは絶対にゆるめないでください。調節後は必ず A ねじ、C ねじが固く締め付けてあることを確認してください。**

※扉の落下等でケガをする恐れがあります。

【扉が前後にずれている】

①扉上方の蝶番の A ねじを左へ回してゆるめ、扉を前後に動かして正しい位置にします。

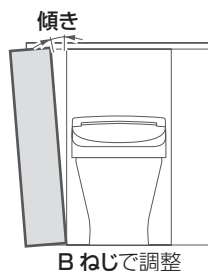
②正しい位置で A ねじを右へ回して締め付けます。

A ねじで調整

【扉と側板のすき間が上下違う】

①扉下方の蝶番の B ねじを左へ回して調節します。または扉上方の蝶番の B ねじを右へ回して調節します。

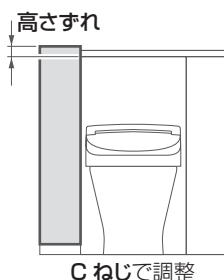
②扉を閉めて確認します。

③正しい位置になるまで①、②をくり返します。

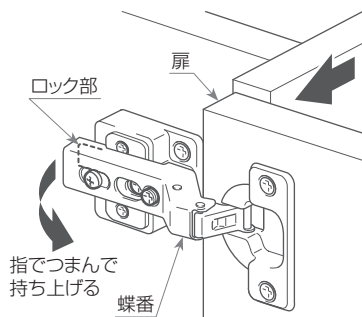
B ねじで調整

【扉の高さが上下にずれている】

①扉の上下の蝶番の C ねじを左へ回してゆるめ、扉を上下に動かし正しい位置にします。

②正しい位置で C ねじを右へ回して締め付けます。

C ねじで調整

扉の脱着のしかた

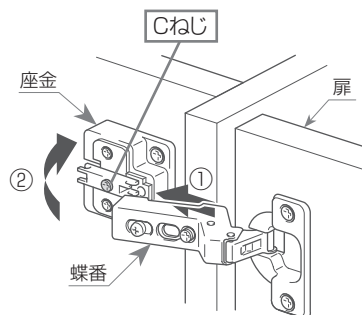
■外し方

●スライド蝶番の奥（ロック部）を、指でつまんだ状態で扉を矢印の方向へ引きます。

■取付け方

①扉側蝶番の軸を、キャビネット側の座金にはめ込みます。

②蝶番の奥を、カチッと音がするまではめ込みます

参考

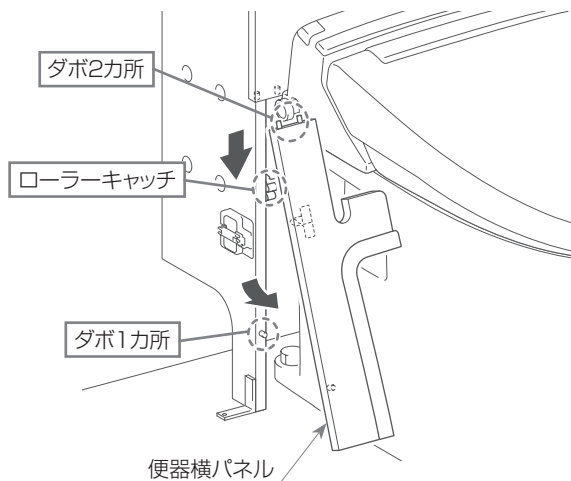
はめ込みにくい場合は、Cねじを一旦ゆるめてから確実に取り付けてください。

注意

● **調整後しっかりと扉が固定されていることを確認してください。**
※扉の落下等でケガをする恐れがあります。

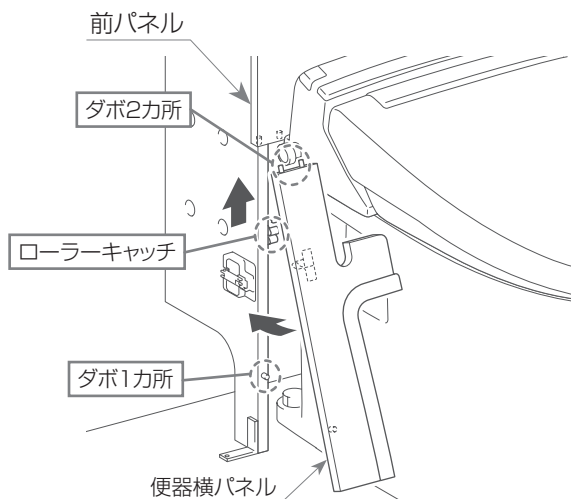
便器横パネルの脱着のしかた

■外し方

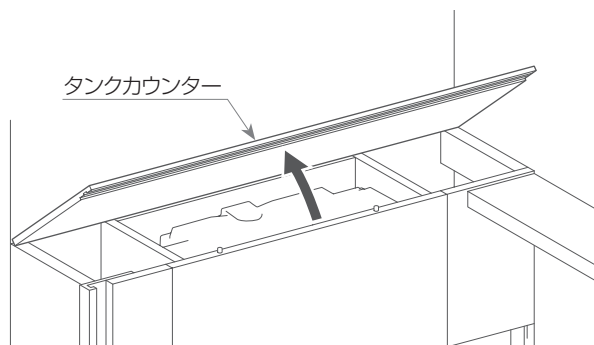
①扉を外します。（P. 42 参照）

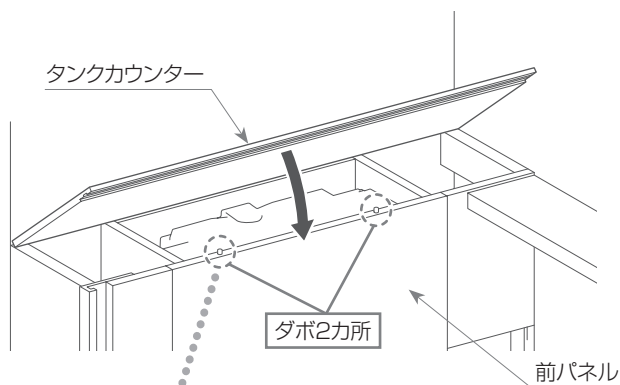
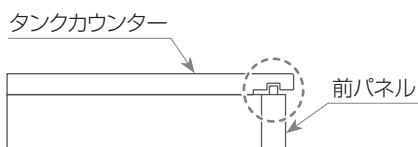
②便器横パネルの下側部分を手前に引き、下に降ろして外します。

■取付け方

①便器横パネルを前パネルのダボ穴に差し込み、ローラーキャッチで取り付けます。

②扉を取り付けます。（P. 42 参照）

タンクカウンターの脱着のしかた

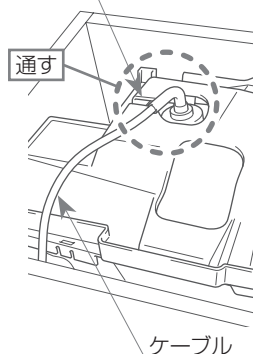
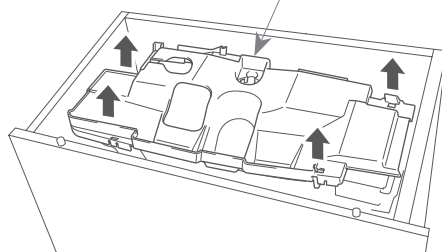
■外し方

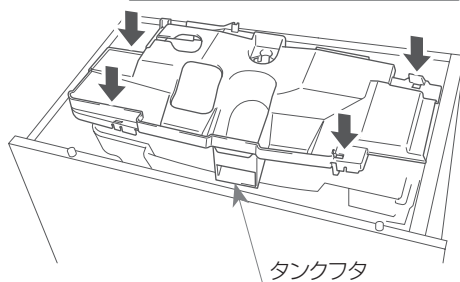
①タンクカウンターを持ち上げて取り外してください。

■取付け方

①タンクカウンターをタンクキャビネットの上にのせ、前パネルのダボにタンクカウンターの溝がはまるように降ろしてください。

タンクフタの脱着のしかた

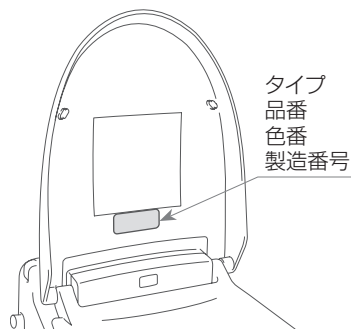
■外し方

①タンクカウンターを外します。（P. 44 参照）

②タンクフタのツメ 4 カ所を外して取り外します。

■取付け方

①矢印の 4 カ所を押して「パチン」と音がするまではめ込みます。

便座の交換のしかた

シャワートイレは、収納一体型便器専用となっております。
他のシャワートイレは取り付けできません。

●お取替の際には、便フタ裏シールの品番･
色番をご確認ください。

補修用部品の交換のしかた

●ボールタップ止水パッキンやフラッパー弁が劣化したり、キズ付いたりすると止水不良を起こすことがあります。
この場合は、対象部品を交換する必要があります。

■ボールタップ止水パッキン（品番：A-7630）

■フラッパー弁（品番：A-7633）

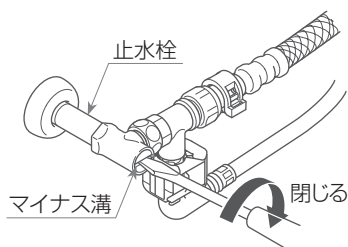
※交換方法は、付属の説明書をご覧ください。
※購入方法は、55 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

長期間使用しないとき

シャワートイレについては、シャワートイレ取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

● **長期間使用しない場合は、必ず水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
※凍結破損により、感電・火災・漏水の原因になります。
※水が汚れて皮膚の炎症などを起こす原因になります。

①止水栓をマイナスドライバー等で右に回して、タンクへの給水を止めます。
再使用時は全開にします。水抜式便器をお使いの方は水抜栓を操作してタンクへの給水を止めます。

注意

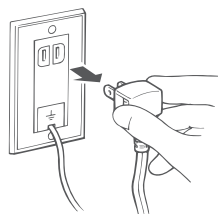
● **止水栓を閉めた後、再び開く場合は必ず全開にしてください。**

②凍結の恐れがある地域では凍結破損防止のため洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を完全に抜きます。ただし便器トラップ内の溜水は排出できませんので、溜水を汲み出すなどの処置が必要です。

※水抜式便器の場合は 49 ページを参照してください。

※水抜式便器以外の場合は、洗浄ハンドルをしばらく回したままにしてタンク内の水を完全に抜いてください。

③ヒーター付便器の場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

※万一の故障にも安心です。

【手洗自動水栓の場合】

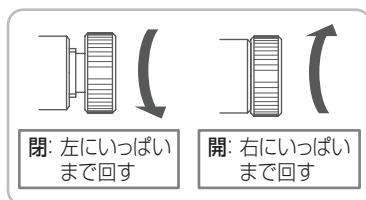
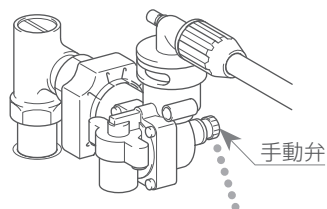
●コンセントから電源プラグを抜いてください。

※万一の事故にも安心です。

①配管の水抜栓を操作する。

②電磁弁に付いている手動弁を開ける。
（右にいっぱいまで回す）

③ 10 秒程経ってから手動弁を再び閉じる。
（左にいっぱいまで回す）

※再通水直後は電磁弁内部の凍結により、
自動水栓が作動しない場合があります。

■使用を再開する場合

●止水栓を操作してタンクへの給水を行います。（P. 34 参照）

※水抜式便器の場合、止水栓は全開にしてください。

冬期凍結の恐れがあるとき

シャワートイレについては、シャワートイレ取扱説明書をご覧ください。

⚠警告

● **凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。**
※凍結破損により、感電・火災・漏水の原因になります。

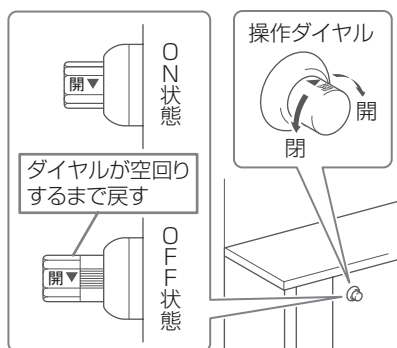
■凍結防止方法

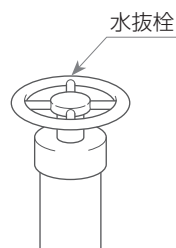
【標準式便器の場合】

●室内を暖房して、タンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。

【流動式便器の場合】

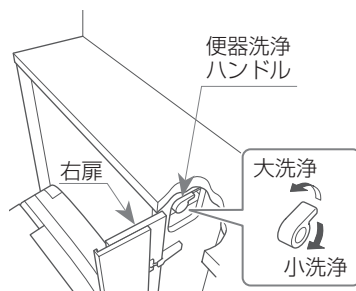
①操作ダイヤルを時計回りに回します。
※操作から約 1 分後にタンク内の水が絶えず便器内に流れるようになります。流動状態を解除するには、操作ダイヤルを反時計回りに空回りするまで回して戻します。

こんなときは

【水抜式便器の場合】

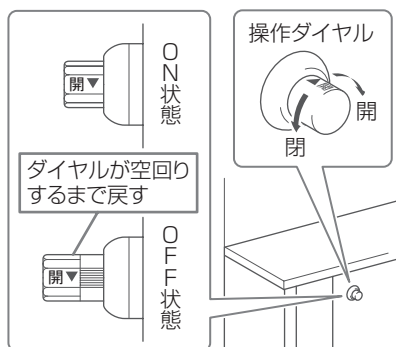
①室内を暖房し、水抜栓を操作してタンクへの給水を止めます。このとき止水栓は全開のままにしておきます。
（ヒーター水抜き併用方式便器の場合は室内暖房の必要はありません。）

②給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

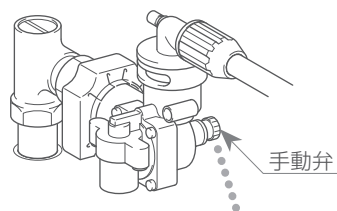
③便器洗浄ハンドルを操作してタンク内の水を抜きます。

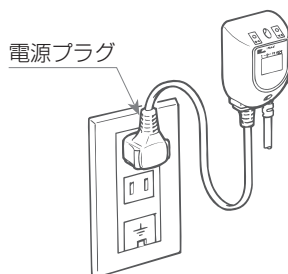
※止水栓および水抜栓を操作して、タンクへの給水を止めてください。

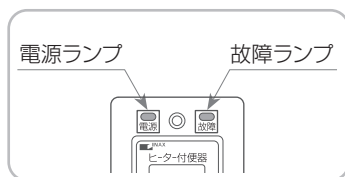
※便器洗浄ハンドルをしばらく回したままにして、タンク内の水を抜いてください。

④操作ダイヤルを時計回りに回して押し込み、反時計回りに空回りするまで回して戻します。

※この操作により、タンク内の水がより抜けやすくなります。

⑤再使用時は、水抜栓を操作してタンクへの給水を行ってください。

【手洗自動水栓の場合】

●電磁弁に付いている手動弁を開ける（右にいっぱいまで回す）。

【ヒーター付便器の場合】

●ヒーター付便器の場合は、さらにヒーターの電源プラグをコンセントに差し込みます。このとき電源ランプが点灯、故障ランプが消灯していることを確認してください。

注意

- **故障ランプが点灯したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、取扱店または当社支社やお客さま相談センターへ連絡してください。**

■トイレ内の使用限界温度について

●凍結防止をしていただいても、下記条件からはずれると凍結する恐れがありますのでご注意ください。

・流動式便器の場合……－ 10℃以上

・流ヒーター水抜併用式便器の場合……－ 15℃以上

・上記以外の便器……0℃以上

※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。

修理を依頼される前に

■故障かなと思ったら

●簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現　象	原　因	処　置
便器が詰まった	便器に紙や汚物が詰まった。	ラバーカップを使用し、詰まりを取り除きます。（☞8、36ページ参照）
タンクへの 給水時間が長い	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。
	ストレーナー付パッキンが目詰まりしていませんか。	ストレーナー付パッキンの掃除をします。（☞25 ページ参照）
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。
	ストレーナー付パッキンが目詰まりしていませんか。	ストレーナー付パッキンの掃除をします。（☞25 ページ参照）
	トイレットペーパーを多めに流していませんか。	女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。（☞10ページ参照）
		1 度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では 5m 程度を目安にしてください。（☞8 ページ参照）
便器内に水が流れ続ける （水が止まらない）	〈流動式便器の場合〉 操作ダイヤルが開いていませんか。	操作ダイヤルを押し流動を解除します。（☞49 ページ参照）
	補給水ではありませんか。	洗浄してから5分以内に水が止まるようでしたら、故障ではありません。便器の溜水を確保するための補給水です。
	タンク内の止水位が調節されていますか。	5分以上洗浄水が止まらない場合、“便器洗浄水がなかなか止まらないとき”の確認を行います。（☞40ページ参照）
タンクまたは 便器下部に水滴が付いている	湿度が高く結露した。	こまめにふきとってください。また、換気を十分にしてください。（☞7ページ参照）
床が濡れている （便器表面や止水栓は濡れていない）	尿が便器を伝って床に垂れた可能性があります。	床をふいてしばらく様子をみてください。それでも床の濡れている場合は、修理を依頼してください。
便器を洗浄すると「ゴボゴボ」と音がする	故障ではありません。 汚物を便器から排出する際に、空気も同時に巻き込むためゴボゴボと音が発生します。	ゴボゴボと音が2秒以上続く場合は、通気管等を設置することで軽減できます。工事された業者さまへご相談ください。
便器洗浄後に床下の排水管から「ポタポタ」と音がする	故障ではありません。 便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。	

<table>
<tr><th>現　象</th><th>原　因</th><th>処　置</th></tr>
<tr><td>便器の水面の大きさが小さい</td><td colspan="2">サイホン式や洗い落とし式といった便器の種類によって水面の大きさが異なります。</td></tr>
<tr><td>洗浄時に、洗浄した水がはねる</td><td colspan="2">便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水がはねる場合があります。</td></tr>
<tr><td>小便がはね返る</td><td colspan="2">洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。便器奥側にねらうよりも、水面の中央をねらったほうが小便の飛散を軽減できます。また、座ってご使用いただければ、より小便の飛散は軽減できます。
着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。</td></tr>
<tr><td>用便時に水が
はね返る
（おつり）</td><td>便器に水たまりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。</td><td>あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご使用いただけば軽減できます。</td></tr>
<tr><td>便器（陶器）に
ピンク色の汚れ
がある</td><td>空気中のバクテリアが、便器に付着した汚れを栄養に繁殖したものです。バクテリアは水中や空気中に分布しており、健康な人に害を及ぼす細菌ではありません。</td><td>中性洗剤を使用して掃除してください。
繁殖しやすいためこまめなお手入れをおすすめします。漂白剤を使うと除菌効果があります。</td></tr>
<tr><td>便器（陶器）の中に黒い粗状の付着物ができる</td><td rowspan="2">給水管のサビが洗浄時に流れて便器に付着したものです。</td><td rowspan="2">トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、数時間程度付着した部分にあてて放置した後、布でふきとってください。</td></tr>
<tr><td>便器の中に、赤いサビの付着物がある</td></tr>
<tr><td>便器（陶器）を掃除していたらスジ状の金属キズがついた（メタルマーク）</td><td>便器と金属が接触すると、便器よりも金属が柔らかいためスジ状の線がつくことがあります。キズではなく便器表面に付いている汚れと同じです。</td><td>トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1時間程度付着した部分にあてて放置した後、布でふきとってください。
応急処置として、市販のけんま材入りトイレ用中性洗剤でも汚れを落とすことは可能です。
※ただし便器(陶器)のうわぐすりを削りとってしまうため、強くこすらないでください。また、継続的な使用は控えてください。</td></tr>
<tr><td>子供の便が付着して落ちない</td><td colspan="2">幼児や児童等の身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄しても落ちない場合があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">手洗い水が少ない</td><td>止水栓が十分開いていますか。</td><td>止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。</td></tr>
<tr><td>ストレーナー付パッキンが目詰まりしていませんか。</td><td>ストレーナー付パッキンの掃除をします。
(☞25 ページ参照)</td></tr>
<tr><td>大洗浄と小洗浄の洗浄水量に差がないように感じる</td><td colspan="2">故障ではありません。大洗浄と小洗浄では洗浄水が約1L～2L異なりますが、この水量差を見た目で区別することは非常に困難です。また、大洗浄と小洗浄の洗浄時間にも大差ありません。そのままご使用ください。</td></tr>
</table>

別売品のご案内

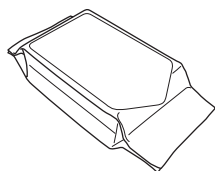
当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、メンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

※別売品について詳しくお聞きになりたい方は、「お客さま相談センター」へお問い合わせください。（連絡先は 62 ページに記載）

別売品について

〈メンテナンス用品〉

■トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36-4SET）

樹脂を傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。
（☞ 21 ページ）

■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

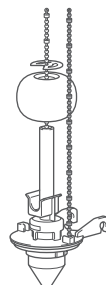
樹脂を傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。（☞ 21 ページ）

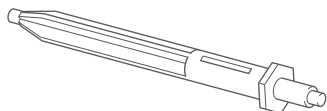
〈補修用部品〉

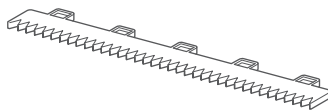
■ボールタップ止水パッキン（品番：A-7630）

止水位調節してもボールタップからの水が止まらない場合の補修用部品です。
（☞ 46 ページ）

■フラッパー弁（品番：A-7633）

フラッパー弁が劣化や破損している場合の補修用部品です。（☞ 46 ページ）

■芯無しペーパー用芯棒（品番：A-4326）

ペーパーホルダーに取り付けることで、芯無しペーパーを使用することができます。（☞ 15 ページ）

■カッター（品番：75-1407）

ペーパーの切れ味が悪くなった場合のペーパーホルダーの交換用部品です。（☞ 19 ページ）

別売品の購入方法

●直接、購入される場合

お求めの取扱店でご購入ください。

●宅配サービスを利用される場合

INAX メンテナンス修理受付センターにご連絡ください。
宅配サービスにてお届けします。（宅配サービスの場合は送料が別途必要となります。）
ご注文フリーダイヤル：0120-00-1794
受付時間　　9：00 ～ 17：00（夏期・年末年始の休みは除く）

●インターネットを利用される場合

下記ホームページアドレスにアクセスし、商品をお求めください。
ホームページアドレス http://www.inax.co.jp/aftersupport/（24 時間受付）

アフターサービス

■修理依頼・ご相談について

より安全にご使用いただくために、次の場合は必ずお求めの取扱店にご相談ください。

● “取扱説明書” どおりに使用されても、まだご不明な点があるとき

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理･改造は行わないでください。
※ケガをする恐れがあります。

■定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより 3 年たったもの。
●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの。

■保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は取付日より 2 ケ年です。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

■修理を依頼されるとき

お求めの取扱店または、保証書に記載の INAX メンテナンス修理受付センター（フリーダイヤルをご利用ください）までご相談ください。

〈保証期間中は〉

・修理に際しては、保証書をご提示ください。
・保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

・修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

・“技術料” ＋ “出張料” ＋ “部品代” で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（商品に表示）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日

■部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低 6 年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。なお補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

■アフターサービス等についておわかりにならないとき

取扱店またはお客さま相談センター（保証書に記載のフリーダイヤルをご利用ください）へお問い合わせください。

仕　様

	型式品番	GDS-55＊ SAL(R)	GDS-55＊ HAL(R)	GDS-55＊ PL(R)
便器 タンク	便器	サイホン式・大型サイズ		
	タンク	樹脂製（防露タンク）		
	洗浄水量	大 6L ／小 5L		
	洗浄ハンドル	リモコンハンドル		
手洗器	材質	樹脂製		
便座	品番	CW-E77Q-SU1、 CW-E75Q-SU1、 CW-E74Q-SU1、 CW-E73Q-SU1、 CW-E71Q-SU1		
キャビネット	材質	スタンダード：化粧パネル(ウレタン化粧板) エグゼセレクション：木製(塗装)		
カウンター	材質	樹脂製		

スタンダード

色番	WAW	WAN	KAW	KAN	KJW	KJN	LPW	LPN	LDW	LDN	LLW	LLN	LMW	LMN
キャビネット	WA ホワイト	WA ホワイト	KA シルク ウッド	KA シルク ウッド	KJ ダーク ウッド	KJ ダーク ウッド	LP クリエ ペール	LP クリエ ペール	LD クリエ ダーク	LD クリエ ダーク	LL クリエ ラスク	LL クリエ ラスク	LM クリエ モカ	LM クリエ モカ
便器・ 手洗器・ 便座	BW1 ピュア ホワイト	BN8 オフ ホワイト	BW1 ピュア ホワイト	BN8 オフ ホワイト	BW1 ピュア ホワイト	BN8 オフ ホワイト	BW1 ピュア ホワイト	BN8 オフ ホワイト	BW1 ピュア ホワイト	BN8 オフ ホワイト	BW1 ピュア ホワイト	BN8 オフ ホワイト	BW1 ピュア ホワイト	BN8 オフ ホワイト

エグゼセレクション

色番	RBW	RBN	WCW	WCN
キャビネット	RB カーム レッド	RB カーム レッド	WC スノー ホワイト	WC スノー ホワイト
便器・ 手洗器・ 便座	BW1 ピュア ホワイト	BN8 オフ ホワイト	BW1 ピュア ホワイト	BN8 オフ ホワイト

注意：シャワートイレの故障の際には、便フタ裏の品番をご連絡ください。買換えの場合には、「収納一体型便器」ということで、「お客さま相談センター」までお問い合わせください。（連絡先は保証書に記載してあります）

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」(http://www.lixil.co.jp/privacy/) をご覧下さい。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。
※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

<table>
<tr><td colspan="3">品名：　**収納一体型便器**　（品番：　　　　　）</td></tr>
<tr><td colspan="2">保証期間　取付日　2ヶ年</td><td>取付日　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">お客さま</td><td>おなまえ</td><td rowspan="3">取扱店名

TEL（　　　）　－</td></tr>
<tr><td>おところ　　**無効**</td></tr>
<tr><td>おでんわ　（　　　）</td></tr>
</table>

お客さまへ
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」･「ラベル」などの注意書に従った正常な使用･維持管理状態で､保証期間内に故障した場合､無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはＩＮＡＸメンテナンス修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
（1）用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
（2）指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
（3）お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
（4）専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
（5）建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
（6）経年変化使用に伴う外観上の現像（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
（7）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
（8）小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
（9）天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障および損傷
（10）戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
（11）自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
（12）消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷
（13）水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう）
（14）寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
（15）給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
（16）保証書の期限切れまたは提示がない場合
（17）本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後６ヶ年です。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは「お客さま相談センター」まで

TEL 0120−1794−00
FAX 0120−1794−30

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP 電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050　　FAX 0562-40-4053
受付時間：平日　　9：00～18：00
土日・祝日　9：00～17：00
（ゴールデンウィーク､夏期､年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）お求めの販売店またはＩＮＡＸメンテナンス修理受付センターまで

TEL 0120−1794−11
FAX 0120−1794−56

受付時間：９：００～２０：００（３６５日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp